

<https://nanao-sh.metro.ed.jp/site/zen>

ICT通信では、学習で実際に活用しているICT機器についてや、学習アプリについての紹介や、実際に活用している様子を紹介いたします。



ICT機器の紹介

GIGA 端末とは、GIGA スクール構想の一環として、国公立及び私立の小中学校・特別支援学校の児童・生徒に配備されている、1人1台端末です。

GIGA スクール構想とは、1人1台の端末と高速通信環境の整備をベースとして、Society 5.0の時代を生きる子供たちのために「個別最適化され、創造性を育む教育」を実現させる施策です。GIGAは「Global and Innovation Gateway for All」の略で、「全ての人にグローバルで革新的な入口を」という意味が込められています。令和2年度より運用を開始し、授業内での利活用だけでなく、週末の御家庭への貸与も進めております。また、端末自体の管理はデータ上で取り扱うこととし、貸出方法をペーパーレスにすることで、教員の申請の利便性を図っています。子供たちがICTを適切・安全に使いこなすことができるようネットリテラシーなどの情報活用能力を育成していく為にも、今後もICT環境の整備を進めていきます。



デジタルサポーター（ICT支援員） 大窪 千紗 さん

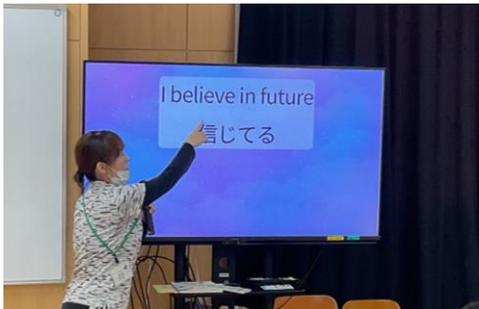
本校では、令和2年度よりデジタルサポーターの制度を活用しています。デジタルサポーターとは、デジタル環境の整備に合わせ、授業や校内研修、校内環境整備、校務支援など、学校でのICT活用を支援する外部人材のことです。主に、授業や校内研修で使用するICT機器・ソフトウェアの設定や操作方法を説明したり、デジタル教材の作成に関わったりといった業務を行っています。





ICT機器の活用

中学部1年の音楽の授業では、リズムや歌唱、身体表現の学習に取り組んでいます。視覚支援の一環として、動画アプリを使用し、リズムをとるタイミングや自動で歌詞が流れるよう工夫をしています。模造紙の楽譜では、なかなか注視ができなかったり、どこを歌っているのかが解らなったりするところを、動画アプリでは、音楽とともにテロップが動いたり、音符が流れてきたりと、視覚的に理解しやすくしたことで、積極的に参加し、興味・関心をもって意欲的に学習に取り組む姿が見られました。



中学部1年生の生活単元学習などの学習で、タブレット端末のカメラ機能を活用した学習に取り組んでいます。そこで、撮影した写真を活用するにあたって、「えにつきアプリ」を使用した学習に取り組んでいます。具体的には、撮影した写真を「えにつきアプリ」に取り込み、植物の生長の過程を記録することに使用したり、修学旅行で訪れる場所についてまとめるツールとして利用したりしました。文書作成ソフトや表計算ソフトだと、なかなか生徒個人では扱いが難しかったものが、この「えにつきアプリ」を使用することで、生徒が一人で資料を作成できるようになりました。また、読み上げ機能があり、文字を読むことが難しい生徒でも発表ができる利点があります。

